

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
電力技術	4単位	3学年	必修	電気科

1 科目の目標

- ①電気の応用技術である照明・電熱・電気化学・電気鉄道やその他の応用技術の基礎について知識と技術を習得し、実際に活用する能力を育てる。
- ②自動制御とコンピュータ制御について学び応用技術の中で活用する能力を育てる。

2 教科書

実教出版株式会社 「電力技術2 電力の利用と制御」

3 科目全体の評価の観点と趣旨

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 他の科目「電気基礎」の関連をはかりつつ、電力に関する技術に関心を持ち、興味をもって意欲的に取り組む態度を身につけている。 他の専門科目に関連させて学習し、理解を高め、応用力を向上する態度を身につけている。 	出席状況、提出物 取り組む姿勢 課題
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 電力施設・設備の実務に実際に活用できる能力と態度を身に付けている。 学習の対象となる個々の機器・システムは、家庭生活・社会生活および学校生活に親しみ深いものであり、実際に活用できる能力と態度を身に付けている。 	ペーパーテスト 観察
技術・表現	科目「工業基礎」「実習」における電力技術に関する実験・実習で理論的理解を身に付け、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を表現できる。	ペーパーテスト レポート内容
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 電力技術の基本的事項の理解と電力技術に関する諸問題の解決を目指して、自ら考える能力を身に付けている。 電力応用の基礎的な事項を理解し、応用できる能力を身に付けている。 	ペーパーテスト レポート内容

4 評価の方法

各教科の評価は1, 2学期が100点法(素点)、3学期が5段階評価で出される。

評価の規準としては、定期考査(中間考査・期末考査)、臨時考査(小テスト等)、提出物(ノート、課題プリント等)、日々の授業態度や出席状況をみます。

評価の割合は、内規によるものとし定期考査70%以上、その他を30%以内とする。(ただし、この割合は各教科担当で多少変わるので、受講の際にあらかじめ確認して下さい。)